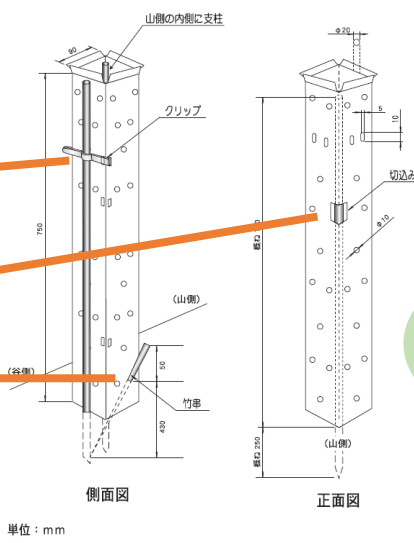
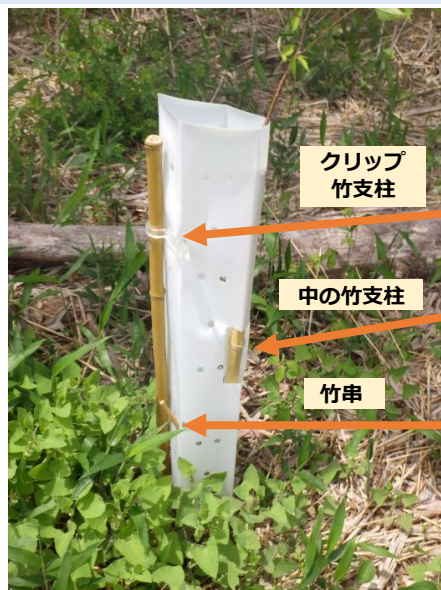


新しい植樹方法での工夫

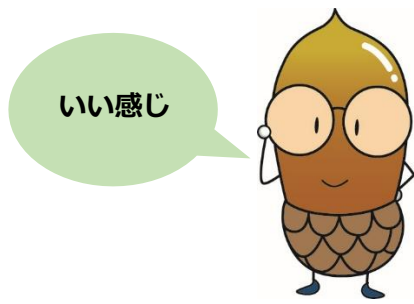
昨年度より、プラスチックゴミを減らす取り組みとして、生分解性素材など「環境に配慮した新しい資材」を一部で導入しています。皆様に工夫していただいた設置事例をご紹介します。

※環境に配慮した資材については Vol.58 参照：https://www.kkr.mlit.go.jp/rokkko/pr_media/plant/group/info/newsletter/vol58.pdf

設置見本マニュアルどおりに設置された例



- 樹木保護セットで使用するのは
- ・竹支柱 2本
 - ・クリップ 1本 (竹支柱とカバーを固定)
 - ・竹串 1本 (カバーの転倒防止)



工夫を凝らした例

斜面や地面の状況に合わせて竹支柱や竹串の角度を調整するなど、皆様のひと工夫が六甲山の豊かな未来を育てます。新しい資材に守られ、苗木が力強く根付いていくのが楽しみです。



カバーが倒れないように竹串を貫通させて使用



地面の硬さに合わせて竹串の角度を調整。倒れなければOK



繁茂する下草の刈取り時誤伐防止に役立ちます

植樹の復習 気を付けていただきたいこと



ポットの苗木がそのまま植えられ、深さも浅い



「森にごみを残さない」を徹底しましょう

